

報告書抄録

ふりがな	はっちょうこふん							
書名	八町古墳							
副書名	送電鉄塔建替工事に伴う発掘調査報告書							
シリーズ名	滋賀県文化財保護協会調査報告							
シリーズ番号	第11集							
編著者名	福井知樹 辻川哲朗							
編集機関	公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月	令和8年(2026年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
はっちょうこふん 八町古墳	しがけん 滋賀県 いぬかみぐん 犬上郡 とよぎとちよう 豊郷町 おおあぎはっちょう 大字八町 こあぎしもたかぎ 小字下高木	254410	441-006	35度 12分 05秒	136度 14分 21秒	20240826 ~ 20240918	144m ²	送電鉄塔 建替工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
八町古墳	集落	奈良時代		土坑		土師器 須恵器		
		平安時代前期		掘立柱建物 土坑 小穴		土師器 須恵器 灰釉陶器		
要約	<p>今回が八町古墳での初めての発掘調査である。調査の結果、掘立柱建物1棟と複数の小穴・土坑を検出し、それらに伴って土師器・須恵器・灰釉陶器等の土器が出土した。</p> <p>検出遺構や出土遺物から、8世紀代と9～10世紀の2段階に区分できる。</p> <p>第1段階は、若干量の遺構・遺物から窺い知れるのみであるが、近隣の遺跡の調査成果から当該遺跡での活動が想定できる。</p> <p>第2段階は、正方位の掘立柱建物が構築される時期である。柱穴の出土遺物の年代観から9～10世紀頃と考えられ、当該期には犬上郡主条里(N33°E)や犬上川左岸扇状地上の方格地割(N27～29°E)が施行される前であることが窺える。</p> <p>これらの資料は、犬上川左岸扇状地における地割施行過程を知る上で貴重な成果である。</p>							